



発行・京都障害者スポーツ振興会  
題字 芝田 徳造

# 「私でも大会に出られるのかな？」

あなたから第一歩を踏み出せば、きっとあなたの世界は変わります。

プロジェクトチーム(京都障害者スポーツ振興会)の発足と活動趣旨検討

辻井 武

1. プロジェクトチームの発足と活動趣旨検討  
京都障害者スポーツ振興会は平成21年4月6日に「全国障害者スポーツ大会」選手選考のあり方についての検討会」を行いました。

全国障害者スポーツ大会出場選手選考において、主催団体は2回以上の出場を認めているが、京都は第1回全国身体障害者スポーツ大会のときから個人競技部門においては初出場の人に出場している。京都においてこの選考方法を継続するかどうか、検討を行った。結論としては、個人競技部門において引き続き、初出場の人からの選考を継続することになりました。

「初出場の人からの選考を続けていくにはどうしたらいいか。」を検討する中で全国大会の選考会でもある全京都障害者総合スポーツ大会の参加者が微増傾向で、新規の出

場選手が少なく普及が必要だという結論に至りました。「全京都障害者総合スポーツ大会の参加者増」対策を立てるために翌月からプロジェクトチームを発足しました。

プロジェクト会議では、まず、専門部にそれぞれ現状を分析し報告してもらったために「活動現状調査書」様式を作った。次に「平成21年度活動現状調査書」を提出してもらい、活動現状調査書を検討する中で、課題が少しずつ明らかになってきた。すでに始まっている本年度の大会に向け、短・長期的に取り組む対策に分け検討を行いました。

## 2. 参加してもらったための取り組み

### チラシ作り

すぐにできる対策として出場を促進するチラシ作りを考えました。「そのような大会があることを知りませんでし

た。」という大会の存在そのものを知らない方が多いこと。大会要綱はとつきにくく、「私には関係ない。」と読む前に敬遠してしまっているの、読みやすくとつきやすい写真入りの大会のチラシを作ろうということになりました。作るうえで大切にしたいことは、「私にもスポーツができるかもしれないなあ。」という気持ちになってもらうものにしよということでした。京都障害者スポーツ振興会のホームページにも掲載し、より多くの方の目に触れるようにしました。

## 平成22年度「京都障害者陸上競技体験会・記録会事業」の企画

卓球・水泳は比較的道具や場所に恵まれていて普及しやすいが、陸上競技は道具や場所の問題から普及しにくい。この機会に経験をしたいだけでなく普及に努めたいです。「私にもスポーツができる。」という気持ちを持つてもらい、生きる意欲の育成に役立てることを目的に、陸上競技を体験し自己記録を得る事業であり、スポーツ経験と記録を得る喜びと、その時の道具をその地域で管理使用することにより継続してそのスポーツを取り組んでもらうという効果が期待できます。

## 3. 平成22年度に向けて

チラシ作りについては、今年度は年度の途中に取り組んだ

こともあったので陸上競技・アーチェリー・フライングディスクだけでした。また、配布時期が申し込み締め切りぎりぎりとなつたため配布範囲が限られ、申し込むまでには至らなかったケースがほとんどではなかったかと思えます。そこで平成22年度は

普及啓発部が中心となり、プロジェクトも協力して専門部とも相談しながら作る。年度初めから計画し代表者会議で開催時期が決定し次第配布する。

配布先拡大を早い時期から検討する。

新聞・テレビ・ラジオの利用も早めから計画して実行する。

年度初め(申し込み受付前)に全競技の日程やトータルの外観がつかめるものを作り、各競技の要項配布の時期と併せて各競技の詳細なものも発行する。

などを考えています。また、「京都障害者陸上競技体験会・記録会事業」を企画している。プロジェクト会議ではこのようにすぐに取り組める課題を整理し対策を立て実行していくことに加えて、長期で取り組む課題を整理し対策を立て実行していくことでも現在検討しています。

京都の障害のある方のスポーツの普及・発展のため、プロジェクトチームにご意見いただけるとうれしいです。

行事予定	1月	12(火)	丹波障害者スポーツのつどい	丹波自然運動公園	来月のつどいは  2 / 14  第2日曜日
		17(日)	218回障害者水泳のつどい	伏見港公園プール	
		23(土)	ゆうあいボウリング大会	マスターズボウル新田辺	
		24(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
		31(日)	第7回京都障害者チャンピオン卓球大会	京都市障害者スポーツセンター	
	2月	9(火)	丹波障害者スポーツのつどい	丹波自然運動公園	
11(祝・木)		障害者スキー雪遊びのつどい	滋賀県マキノスキー場		
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010 http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (2009年11月23日に一部更新)					第2日曜日

# スポ振ルネサンス 22

「心でつなぐ活動を！」

京都障害者スポーツ振興会

副会長 水谷 裕

新しい年を迎え、今年も恒例となった事業や新規の事業など様々な取り組みを、心新たにチャレンジしていかねばなりません。

この連載「スポ振ルネサンス(再生)」も書き始めて、まもなく2年を迎えますが、京都障害者スポーツ振興会(以下、振興会という)の寄り良い明日を目指して、これからも憎まれ口(たまに、建設的な提案も?)を続けてまいりたいと思っておりますので、ご支援とご声援をお願いいたします。

今年、振興会は、節目となることがいくつかあります。

2月の「全国車いす駅伝競走大会」は、昭和63年の全国身体障害者スポーツ大会で公開競技として発信して以来、昨年20回を迎えましたが、10年を一区切りとして三廻り目に入り、

ここ10年来30チーム前後で推移をしている参加チーム数を増やして名実ともに「全国区」の大会にするために、参加し易い環境づくりの方策を検討し構築していく時期が来ているといえるでしょう。芝田顧問におかれては、すでに全国的にアンケート調査をされて、提案をレポートにまとめられています。

また、建設時より府民開放型を目指す府立体育館の障害のある人々への熱い思いからの要請と「養護学校等卒業後の障害のある人々がスポーツを通してつどえる場が欲しい」との障害者(児)父母の会からの要望を受けた振興会の思いが合致して共催という形で生まれ、京都府立体育館の数ある府民開放型事業がモデルとして全国の体育施設の模倣される中、唯一真似ることもできなかつた全国的にも類を見ない「障害者スポーツのつどい」が、平成22年7月には、450回を迎え、記念の「障害者スポーツのつどい」が行われることです。

さらには、スポ振ルネサンス(17)で提案した障害

のある人誰もが容易に参加できる「陸上競技の体験会」を兼ねた「陸上競技の記録会」を、実現したいとプロジェクトチームを中心に下準備を行ってまいります。

ただし、これは今のところ未定というか、場所も日程も決まっています。これも行える環境が整えばということ、つまり、独立行政法人福祉医療機構への申請が、うまく認められれば、のことなのです。

地方での審査は通ったのですが、今年度の場合、中央での審査以前の難関が待ち受けていたのです。それは、独立行政法人の基金が、新政権の発足ですっかりお馴染みになった《事業仕分け》にかかって、例年のようにすんなりとはいかなないどころか、先行きが見えないようでした。ぜひ、実現したいものです。

スポーツは、誰もが楽しむことができる最低限の生活保障の一つです。これを「無駄」と言われると悲しいですね。一方で、オリンピックやサッカーワールドカップなどは、本業とは別に経済効果という魔物に取りつかれて、誘致活動に莫大な資金で行っています。地域のニーズに応じたスポーツ大会等の種類を「無駄」という物差しで考えてよいものでしょうか？(編集員の年始の愚痴)

## 第18回ふれあい卓球バレー大会

開催日

平成21年12月6日(日)

会場

京都市障害者スポーツセンター

参加チーム

47チーム(約470名)

### 大会結果

#### 【一般の部】

優勝 虹の会A

準優勝 ピッコロ

第3位 林家一家

#### 【施設の部】

優勝 西陣工房

準優勝 みぶつくしいず

#### 【学校の部】

優勝 西総合A

(チーム名は違いますが、西総合としては4年連続優勝)

準優勝 鳴滝ファイリズ

第3位 イーストファイアーズ

(鳴滝総合)  
(東総合)

参加チームのみなさん、お疲れさまでした。全京都卓球バレー大会でも、素晴らしいプレーを見せて下さい。

## 〈編集後記〉

昨年の自分を振り返ると、何かにつけて言い訳ばかりしてきたように感じます。相変わらず振興会の活動はなかなか参加できていないのですが、一人一人を大切にする、社会福祉の活動をする、ということの意味では同じ道を歩んでいると思っております。自分のできることを精一杯取り組んでいきたいです。

学校教育とは全く違う特殊な勤務の合間に、原稿と向き合っています。なので、社会の不条理さと向き合うため、原稿が多少荒っぽい仕上がりになることも多いですが、言い方は不適当かもしれませんが、言いたいことが、言いたくないことが、言いたくない。と決意して教育に係わった井上成美海軍大将のように、一人ひとりに向き合っていきたいと思っております。

特集 国体に出場しませんか 今月号まで4回連載しました。多くの人に国体に出場して頂きたいと思っております。私は新しいことには挑戦しなければと思いつつ、一歩を踏み出せないでいます。